

# 水産物部初市の入荷数量

中央卸売市場  
令和3年1月5日

## 1. 入荷予定数量(豊洲市場) \*下段( )は全市場入荷予定数量

年月日	令和3年1月5日 火曜(A)	令和2年1月5日 日曜(B)	前年比 A/B
入荷数量	883.2 (928.9) トン	927.2 (977.1) トン	95.3 (95.1) %

## 2. 主要品目の入荷予定数量(豊洲市場)

品目	入荷数量(トン)		
	令和3年 1月5日(A)	令和2年 1月5日(B)	前年比 A/B(%)
あじ	7.4	8.7	85.1
さば	8.5	5.8	146.6
いわし	5.3	8.7	60.9
するめいか	8.3	8.4	98.8
はまち	9.5	13.0	73.1
かき(むき)	3.4	5.6	60.1
冷凍めばち	41.2	40.1	102.9

## 3. 概況

本年初市の全市場の入荷予定数量は、前年比4.9パーセント減の928.85トンであった。豊洲市場の鮮魚類の入荷は、前年と比べて15.6パーセント減の158.79トンで、相場は前年と比べて軟調。品目別では、アジがしっかり、サバは横ばい、イワシは急落、スルメイカは軟調、カツオは大幅安、ブリが軟調、メジが小安い。

生鮮マグロ類の入荷は283本で前年(236本)より増加した。今年の最高価格は青森県大間産・生鮮マグロ(208.4kg)がkgあたり100,000円だった。冷凍マグロの入荷は1,149本で昨年(1,081本)より増加した。

国内まぐろは、天然物は人気の高い津軽海峡物の入荷が前年を下回ったが、下田などの伊豆諸島近海物がまとまったため計128本と潤沢だった。大間産に250キロ以上の特大サイズがなかったこともありせり値は伸び悩み、昨年の初市にくらべ100キロ以上の大型サイズでは全般的にほぼ半値に急落。養殖物は16本と約3分の1に減ったが、相場はいずれも軟調。輸入まぐろは、天然物がギリシャ産の3本のみで国内物の増加が響き軟調。養殖物はメキシコ産が43本とやや減ったが、国内物に押され軟調。

### 【連絡先】

<上記内容に関する事>  
中央卸売市場 豊洲市場水産農産品課 水産品担当 03-3520-8261

<ホームページに関する事>  
中央卸売市場 総務課 広報担当 03-5320-5720